

# ポスト2022年における 農への新たな取組み



## [プログラム]

### 《第1部ー情報提供》

国土交通省 都市局 都市計画課  
農林水産省 農村振興局 農村計画課 都市農業室

### 《第2部ーパネルディスカッション》

コーディネーター：

増田 昇氏 (大阪府立大学名誉教授)

パネリスト：

大木 祐悟氏 (定期借地権推進協議会運営委員長)

佐藤 啓二 (都市農地活用支援センター常務理事)

報告 「定期講演会と都市農地制度の10年」

小谷 俊哉 (都市農地活用支援センター主席研究員)

11/8 13:15  
-16:30  
(水) (開場12:45)

### 《会場》

東京ウィメンズプラザ ホール

(東京都渋谷区神宮前5-53-67)

### 《定員》

会場=200名/オンライン=500名

お申し込みはホームページから！

参加費無料

申込先着順

オンライン有り Zoomウェビナー

faxまたはe-mailでお申し込みの場合、「会場」「オンライン」の別を明記し、氏名、所属、住所、e-mail、telをご記載の上、連絡先までお申し込み下さい。

<https://www.tosinouti.or.jp/>



国土交通省提唱  
「土地月間」  
参加行事

主催：  
一般財団法人  
都市農地活用支援センター

〒101-0032  
東京都千代田区岩本町3-9-13 岩本町寿共同ビル4階  
tel 03-5823-4830 fax 03-5823-4831  
e-mail moushikomi@tosinouti.or.jp

共催：定期借地権推進協議会  
後援：国土交通省、農林水産省、全国農業協同組合中央会

都市農地センター

検索

## [ 開催趣旨 ]

本講演会は、都市農地の関係者をはじめとして幅広い層の方に、都市における貴重な資源である農地の役割と利用・保全のあり方を考える契機としていただくため、毎年、国土交通省が提唱する「土地月間」に併せて実施しているものです。三大都市圏における生産緑地の2022年問題対応作業（特定生産緑地への移行）が概ねひと段落しましたが、今後10年、20年を見据えた時、農地法に基づく都市農地の更なる保全・活用のあり方はもとより、農地法によらない農的空間の拡大等についても取り組むべき事柄はまだ残されています。

そこで今回は、都市農地関連制度の改正や新たな農への取組活動を見据えながら歩んできたこれまでの定期講演会を振り返りつつ、今後の都市農地のあり方について「**ポスト2022年における農への新たな取組み**」をテーマにパネルディスカッション形式の特別版として開催することとしました。

多数の皆さまのご参加をお待ちしております。



## [ 講師プロフィール ]

### [ コーディネーター ]



**増田 昇氏**  
大阪府立大学名誉教授

1952年大阪生まれ。77年大阪府立大学大学院 農学研究科修了。都市計画系コンサルタント勤務を経て、85年同大学農学部助手、97年より教授、2015年生命環境科学研究科長就任（17年3月定年退官）。17年同大学植物工場研究センター長就任。現在は、同大学名誉教授並びにLAまちづくり研究所を主宰。専門は造園・緑地学、都市や大都市圏の緑地計画や景観デザイン。過去に日本造園学会会長や日本都市計画学会副会長、現在大阪府農業振興地域整備審議会会長や地方自治体の緑政や環境都市計画等の審議会委員を歴任。

### [ 報告者 ]



**小谷 俊哉**  
都市農地センター主席研究員

1965年宝塚生まれ。埼玉大学大学院修了（建設工学専攻。工学修士（都市史））都市計画コンサルタント会社勤務を経て08年より練馬まちづくりセンターにて農地と共生したまちづくり研究、住民提案型地区計画やまちづくり活動を支援。13年より都市農地センターにて都市農地の活用保全に関する調査研究、普及啓発、相談対応業務を担う。防災協力農地について、災害時に果たした役割等を調査。技術士（建設部門：都市及び地方計画）。

### [ パネリスト ]



**大木 祐悟氏**  
定期借地権推進協議会  
運営委員長

早稲田大学商学部卒。旭化成工業（株）入社後、1993年から、借地問題、集合住宅、都市農地問題、高齢年マンションの再生等をはじめとする不動産コンサルティング業務に携わる。現在は、旭化成レジデンス株式会社 マンション建替え研究所特任研究員。また、2007年から定期借地権推進協議会推進協議会運営委員長に就任、現在に至る。著書「定期借地権活用のすすめ」、「マンション建替えの法と実務」（共著）他、2022年問題について、住宅新報で2020年4月に連載等。

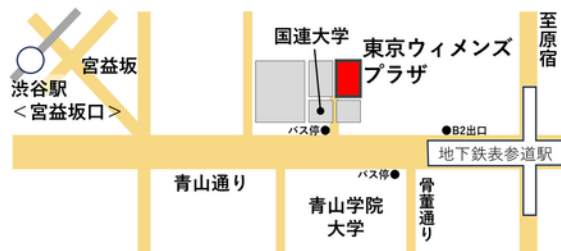


**佐藤 啓二**  
都市農地センター常務理事

盛岡市出身。1974年東北大学大学院（建築）MC修了、建設省入省。区画整理、住宅建設、都市防災等に携わると共に、自治体、URに Outreach まちづくりの第一線に立つ。2007年から都市農地センターに勤務し、都市農地の調査研究やアドバイザー派遣事業を担当。著書『ケース別農地の権利移動・転用可否判断の手引き』（2017年）、『一問一答新しい都市農地制度と税務』（2018年）、『コンパクトシティを問う』（2019年）、『市民緑農地の提言』（2023年予定）

## [ 交通アクセス ]

- 渋谷駅 宮益坂口から徒歩12分  
（JR・東急東横線・慶応井の頭線・東京メトロ副都心線）
- 表参道駅 B2出口から徒歩7分  
（東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線）
- 都バス（渋88系統）  
渋谷駅から2つ目（4分）青山学院前バス停から徒歩2分



## [ お知らせ ]

### ■ 「農のアドバイザー派遣」

当センターのホームページにて、アドバイザー派遣の募集や過年度の派遣内容をリーフレットや報告書で紹介しています。各資料は、ダウンロード可能です。また、YouTube動画でも事業案内を行っています。



### ■ 情報誌「都市農地とまちづくり」

毎年、都市農業・都市農地の関連施策や制度の最新動向、多面的な機能に関する先取り取り組み事例などを紹介する情報誌を発行しています。当センターのホームページにて無料で閲覧・ダウンロードが可能です。

